

10/14 朝日

# 国葬費用 12億円台

## 首相「見積もり下回る」

岸田文雄首相は13日、安倍晋三元首相の国葬にかかる費用が、当初の見積もりよりも少なかつたことを明らかにした。海外からの弔問客の滞在日数が当初より短かったことを説明し、「警護や接遇費などの積み重ねだ」と語った。BSフジの報道番組で明らかにした。

政府は当初、警備費などを含む費用が16億6千万円程度になると見積もっていたが、政府関係者によるところ、12億円台となりました」という。詳細は14日に発表する予定。首相は番組で「しっかりと数字は明らかにして、予算が適切だったかどうか検証をしていきたい」と述べた。

また、総合経済対策の柱に位置づける電気料金の激変緩和策に関連し、首相は「一人一人、どれだけ電力量が下がったかよくわかるような形でないと対策を実感してもらえない」と述べ、利用明細などで値下げ分を利用者にわかる仕組みが必要との考え方を示した。

首相は、電力会社に支援金を払うことでの電気料金を抑える方針を示しているが、支援額がどれだけ料金抑制に回るか不透明な点が課題となっている。